

登 録 申 請 書

年 月 日
申請年月日

(あて先) さいたま市長

申請者 住所 埼玉県〇〇市〇〇町 100 番地

氏名 さいたま環境衛生株式会社

代表取締役 見沼 さくら

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

建築物における衛生的環境の確保に関する法律第 12 条の 2 第 1 項の登録を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

登 録 区 分	建 築 物 飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業
営業所の所在地	さいたま市中央区鈴谷 7-5-12
営業所の名称	さいたま環境衛生株式会社 与野営業所
営業所の電話番号	048-840-2227
営業所の責任者氏名	環境 衛太郎

次の書類を添付してください。

- 1 別記第 2～5
- 2 物的要件に係る設備・機器の写真
- 3 監督者等の資格を証明する書類
- 4 法人の場合は登記事項証明書（再登録であつて変更がないものは省略可）
- 5 器具等の保管場所の配置図および営業所付近の案内図

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とする。

別記第2

設 備 ・ 機 器 名 簿

記入例：飲料水貯水槽清掃業

営業所名 さいたま環境衛生株式会社 与野営業所

平成29年 10月 1日 現在

機 械 器 具 名	名 称 ・ 型 式	数 量	購 入 年 月	備 考
揚水ポンプ	〇〇製作所製 LB-430型	2	平成15年10月	
高圧洗浄機	〇〇製作所製 JE-1030型	2	平成15年10月	
残水処理機	□□工業製 50ES型	1	平成15年10月	
換気ファン	(株)△△製 SF10	2	平成20年6月	
防水型照明器具	(株)××電気製 HL55	5	平成20年6月	
色度計	〇〇科学製 W10S	1	平成25年10月	
濁度計	〇〇科学製 W10D	1	平成25年10月	
残留塩素測定計	〇〇科学製 DPD-CT1	1	平成25年10月	

別記第3

監督者等名簿

記入例：総合管理業

営業所名 さいたま環境衛生株式会社 与野営業所

平成29年 10月 1日 現在

氏名 生年月日	監督者等の名称 (注1)	業務の範囲(注2)	経験年数	資格の種別(注3)	(再)講習会等の番号 資格取得年月日	有効期限
環境 衛太郎 S30年10月10日	統括管理者	業務全般	15年	統括管理者講習会修了	第 111号 再第 号 平成26年 2月2日	年 月 日
北 一郎 S45年 5月 4日	清掃作業監督者	第1班	10年	清掃作業監督者再講習会 修了	第 号 再第 222号 平成26年 3月2日	年 月 日
西 二郎 S55年 5月 5日	清掃作業監督者	第2班	5年	清掃作業監督者講習会 修了	第 333号 再第 号 平成25年 4月2日	年 月 日
緑 太郎 S50年 6月 6日	空調給排水管理 監督者		8年	空調給排水管理監督者 講習会修了	第 444号 再第 号 平成24年 6月2日	年 月 日
中央 みなみ S48年 4月 8日	空気環境測定実施者		10年	建築物衛生管理技術者	第12345号 再第 号 平成18年 6月6日	年 月 日
年 月 日					第 号 再第 号 年 月 日	年 月 日

(注 1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空調用ダクト清掃業の場合はダクト清掃業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は飲料水貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、建築物ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、建築物環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者と記入する。

(注 2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入する。

(注 3) ○○(再)講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入する。

別記第4

研修実施状況（計画）（自 年 月 日 至 年 月 日）

営業所名 さいたま環境衛生株式会社 与野営業所

平成29年 10月 1日 現在

研修の 期 日	研 修 の 内 容	指導員の氏名 指導員の資格(注)	対 象 従事者数	参 加 従事者数	研修の 期 日	研 修 の 内 容	指導員の氏名 指導員の資格(注)	対 象 従事者数	参 加 従事者数
	<p><研修の期日> 実施済みの研修の場合はその実施日を、計画については予定している年度と月を記載すること。</p> <p><研修の内容> 厚生労働大臣の登録を受けた機関が実施する従事者研修を受講した旨を記載すること。社内研修を実施した場合は、内容と時間を記載すること（厚生労働大臣の登録を受けた機関が実施する従事者研修と同等の内容で7時間以上であることが必要です。 (※平成 25 年 1 月 21 日健衛発 0121 第 1 号厚生労働省健康局生活衛生課長通知を参考にしてください)</p> <p><指導員の氏名・資格> 監督者や建築物環境衛生管理技術者など、研修の科目について十分な知識・技能を有する者が指導にあってください。</p> <p><対象従事者数・参加従事者数> 対象従事者数と参加従事者数を記載すること（全員が年1回の研修を受けていることが原則です）。</p> <p><実施団体の証明欄> 厚生労働大臣の登録を受けた機関が実施する従事者研修を受講した場合は、実施機関の証明を受けること。</p>								
実施団 体の証 明欄	<p>上記研修については本団体の指導により行われた（行われる）ものである。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">(指定団体名) (代表者氏名(印))</p>								

- (注) 1 指導員の資格欄には、〇〇作業監督者、統括管理者、清掃作業従事者研修指導者、その他参考になる事項を記載する。
2 指導教育責任者の講習修了書等の写を添付する。

作業実施方法等

営業所名 さいたま環境衛生株式会社 与野営業所

平成29年 10月 1日 現在

	作業班名	監督者等の氏名	使用する機械器具
作業班編成	日常清掃班	北 一郎	真空掃除機、ほうき、ちりとり、ウェス
	定期清掃班	西 二郎	真空掃除機、床磨き機、ほうき、ちりとり、ウェス
	空調・給排水班	緑 太郎	残留塩素測定器
	空気環境測定班	中央 みなみ	粉じん計、温湿度計、気流計
作業手順等	<div style="border: 3px double black; padding: 10px;"><h2>次頁参照</h2><p>厚生労働省告示第 117 号の内容を十分に把握したうえで、標準的な作業実施方法を具体的にご記入ください。</p></div>		

①建築物清掃業

清掃作業工程／機械器具等の点検方法・頻度／清掃作業に伴って排出されるごみや排水の処理方法／作業計画・作業手順書の策定および点検／作業報告作成の手順

②建築物空気環境測定業

空気環境の測定方法／測定器の点検・校正の方法・頻度およびその記録の保存方法／測定結果報告作成の手順

③建築物空気調和用ダクト清掃業

作業工程／清掃の効果の確認方法／機械器具等の点検の方法・頻度／清掃作業に伴って排出されるごみの処理方法／作業報告作成の手順

④建築物飲料水水質検査業

水質検査の方法／試薬・標準物質の保管方法／検査室の整理・清掃方法／機械器具の点検等の方法・頻度およびその記録の保存方法／測定結果報告作成の手順

⑤建築物飲料水貯水槽清掃業

作業工程／使用する塩素剤の名称及び使用方法／機械器具の洗浄・作業衣等の消毒の方法／機械器具等の点検の方法・頻度／従事者の検便等の実施時期／作業報告作成の手順

⑥建築物排水管清掃業

作業工程／機械器具等の点検の方法・頻度／作業報告作成の手順

⑦建築物ねずみ昆虫等防除業

作業工程／使用薬剤と保管方法／機械器具等の点検の方法・頻度／作業報告作成の手順

⑧建築物環境衛生総合管理業

清掃関係：

清掃作業工程／機械器具等の点検の方法・頻度／清掃作業に伴って排出されるごみや排水の処理方法／作業計画・作業手順書の策定および点検／作業報告作成の手順

空気環境測定関係：

空気環境の測定方法／測定器の点検・校正の方法・頻度およびその記録の保存方法／測定結果報告作成の手順

空調給排水関係：

空気調和設備や機械換気設備の維持管理方法／貯水槽等の飲料に関する設備の維持管理方法／排水槽等の排水に関する設備の維持管理方法／水質検査の作業工程／各作業についての報告作成の手順

作業実施方法等

営業所名 さいたま環境衛生株式会社 与野営業所

平成29年 10月 1日 現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

例1 委託はなし

例2 原則として自社で実施するが、委託をする場合は以下のとおり。

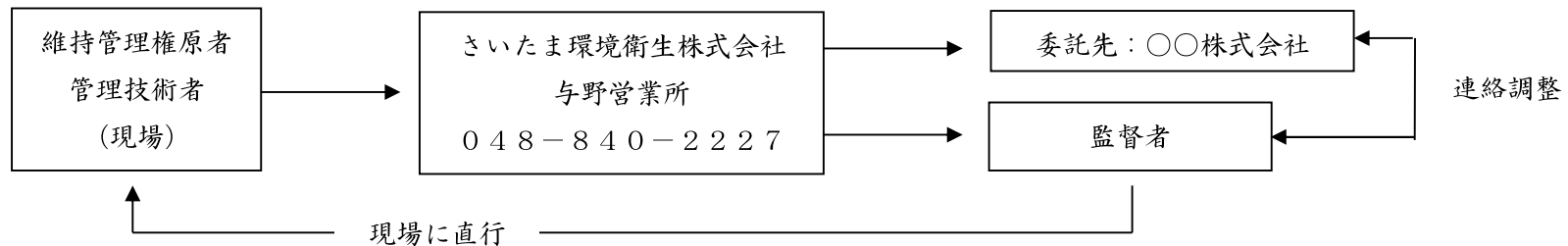
- ・委託を受ける者の氏名等：〇〇株式会社
- ・委託する業務の範囲：空気環境測定作業
- ・委託する期間：9月～12月

上記事項について、建築物の所有者に対して事前に文書で通知する。

委託業務の内容については事前に作業手順書にて厚生労働省告示第117号の基準を満たしていることを確認する。

委託した業務の実施状況については、実施報告書の確認をもって把握する。

苦情及び緊急の連絡に対する体制



※具体的な連絡体制を簡潔に図などで示してください。